

第9回

中学生議会

議員の仕事を一体験！

7月31日、与那原中学校の生徒たちが町の現状や課題を調べ、執行部へ質問や提案などを行う「中学生議会」が与那原町議会議場で開催されました。2年に1度、1日限りの「中学生議会」に今回は13人が参加し、本物の議会と同じ流れで進行。中学生ならではの発想の豊かさが光る提案や鋭い質問に対し、町職員が真剣に答弁しました。 ※ページ数の都合上、質問と答弁を一部抜粋しています。



下地 茉莉尚 議員

質問

かけこみマップ活用

不審者から身を守るための判断・行動ができるように、小学校の総合的な学習の時間に「かけこみマップ」の学習を取り入れてはいかがでしょうか。

回答 大浜 辰也 学校教育課指導主事

両校の小学校3・4年生の先生方に伺ったところ、社会科では校区探検は行っているものの、不審者に特化した対応や防犯マップは扱っていないという回答がありました。ただし不審者避難訓練の前後には「太陽の家」やコンビニなどへ避難する安全指導は行っているそうです。今後はPTAと連携し、地域安全マップの見直しに取り組みたいと思います。

質問

伝統行事を受け継ぐために

コロナ禍前は大綱曳まつりでは6年生による子どもエイサーが行われていました。昨年は(当添)ハーリーが終了するなど、伝統行事が減少していると感じます。大綱曳まつりで復活させたり、新しい行事として継続していくのはいかがでしょうか。

照喜名 琉衣 議員

回答 本田 裕之 生涯学習振興課長補佐

コロナ禍以降、子どもエイサーが未実施となり、同じく大綱曳の日に行われていたPTA主催の子ども綱曳大会も熱中症対策で実施の見直しを検討しています。実施時期を秋以降の学校行事と連携する案も出ています。当添ハーリーは漁港の工事で当面実施できませんが、水上綱曳を行うなど新しい形で伝統行事の継続を工夫しています。伝統行事を後世に残せるように、地域と協力し、コミュニティの形成に取り組みたいと考えています。

質問

宿泊施設・観光スポットの充実を

与那原町は人口や商業施設が増えています。宿泊施設や観光スポットが少なく、海外や県外からの観光客が少ないように思えます。こうした施設を増やすことはできませんか。

回答 白井 洋平 ブランド推進課長補佐

町では「与那原町観光ビジョン」を策定し、観光振興の方向性を定めています。今後予定されている大型MICE施設の整備に伴い、宿泊施設や観光体験施設の整備が必要となるほか、軽便鉄道や大綱曳、水路などの貴重な歴史・文化資源を活かした観光メニューの開発や受け入れ体制の強化を進める計画です。

ご指摘の通り、宿泊施設の不足や観光地としての滞在コンテンツの整備不足が課題であり、これらを重点施策として位置付けています。宿泊施設の整備には民間投資の誘致や土地利用の調整が必要で、町だけの整備は難しいため、民間事業者への働きかけを行うとともに、町民や若い世代の意見を取り入れながら魅力ある観光地づくりを進める方針です。

質問

支援や補助の充実を

給付支援が他市町村と比べて少なく感じます。また、他の自治体では部活動の遠征費に半額補助もあると聞きますが、与那原町でも支援を充実できませんか。

回答 仲尾次 亜理沙 福祉課長補佐

福祉課では「令和6年度住民税非課税世帯等給付金」を実施しており、対象者に国の基準に基づく3万円を給付しています。全国一律の金額で支給されるため、他の市町村との違いはありません。また、障がいのある方を対象とした福祉事業として「日常生活用具給付」「介護・訓練等給付」「自立支援の医療費給付」「移動支援等の給付」があり、これらも国の支給基準や町の規則に基づき実施しています。障がいや介護の状況により給付内容が異なることもありますので、しっかり対応してまいります。

回答 桃原 美穂 学校教育課長補佐

与那原町では中学校の部活動に対して補助を実施しています。九州大会や全国大会、県内離島への派遣についても、大会の種別に応じて30～50%の補助率で補助しています。今後も安心してスポーツや文化活動に取り組めるようサポートを続けていきます。

幸地 美緒莉 議員

質問

子育て世帯への支援

子育て世帯に5万円の給付金が支給されていますが、継続的な支援としての効果は限られていると思います。認可外保育施設の整備や遊具の設置など、長期的に役立つ支援を検討してはいかがでしょうか。

小濱 保稀 議員

回答 桑江 ゆうな 子育て支援課長補佐

町内には認可保育園が15施設、認可外保育施設が4施設あります。認可外保育施設には設備を整えるための補助金は現在のところありませんが、備品などの購入費には補助金を交付しています。また、入所児童の健康診断費や給食費の負担軽減のための補助も行っています。

回答 金城 盛人 まちづくり課長補佐

現在、与那原公園を拡大し、サッカーや野球などができる多目的広場、憩いの場の整備を進めています。また、各公園で老朽化した遊具の取り替えを進めており、今年度は9月頃から浜田公園と板良敷公園の工事を予定しています。次年度以降は上の森公園、ゆうゆう公園でも順次実施予定です。



瀬川 花凜 議員

質問

中央通りの事故防止について

中央通りを歩いていると、車が飛び出してくる場面が多く見られます。歩道付近の「止まれ」を少し手前に設置し、看板を追加してはいかがでしょうか。

回答 八幡 力 生活環境安全課長補佐

停止線の位置は左側住宅の車庫入口手前に引かれており、交差点寄りに停止線を引くのは難しい状況です。看板については現場を確認の上、設置が可能なかを検討します。路面標示や看板は、緊急性、必要性の高い箇所から設置しています。予算にも限りがあるため、町内全体の要望を踏まえながら現場の状況を確認し、判断してまいります。

